

医療に対する希望（終末期になったとき）

終末期とは「生命維持処置を行わなければ、比較的短時間で死に至るであろう、不治で回復不能の状態」です。

- ・終末期になったとき受けられる医療に対する希望を記載してください。
- ・ご自身で判断できなくなられたとき、ご家族・かかりつけ医の判断の参考になります。
- ・この希望はいつでも修正・撤回できます。
- ・法律的な意味はありません。

1. 希望

- ①痛みや苦痛について できるだけ抑えて欲しい（ 必要なら鎮静剤を使ってもよい）
 自然のままにいたい

- ②終末期を迎える場所について 病院 自宅 施設 病状に応じて

- ③その他の希望

[]

2. 終末期になったときの希望

- ①心臓マッサージなどの心肺蘇生 して欲しい して欲しくない
②延命のための人工呼吸器 つけて欲しい つけて欲しくない
③経管（胃ろう、鼻チューブ）による栄養補給 して欲しい して欲しくない
④点滴による水分の補給 して欲しい して欲しくない

- ⑤その他の希望

[]

3. ご自分で希望する医療が判断できなくなったとき、かかりつけ医が相談すべき人はどなたですか（お書きいただかなくても結構です）

お名前（ ） ご関係（ ） 連絡先（ ）

お名前（ ） ご関係（ ） 連絡先（ ）

患者様のお名前： _____

ご家族様署名： _____

かかりつけ医： _____

訪問看護ステーション看護師： _____

ケアマネージャー： _____